



# SSKW すてっぷ だより

編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会  
〒379-2164群馬県前橋市東上野町136番地1

TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <http://www.s-step.com> [w-step@s-step.com](mailto:w-step@s-step.com)

№32



## あけましておめでとうございます。



新春を迎え皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



昨年、12月1日(土)～3日(月)に開催した「第7回チャリティーアート展inすてっぷ」も無事終了いたしました。ご来場いただきました方々、ご協力いただきました関係者の方々、心よりお礼申し上げます。

今年度は、後援会イベントも“チャリティーアート展”のみとしたことで集中でき、特別企画として昨年好評だったオークションに加え、新たに蚤の市(テント村)や屋外コンサートも行われ、会場に盛り上がりを添えました。また、ご協力いただきました出品作家さんの人数も過去最高となり、とても見応えのある作品が並びました。

3日間の総売上げは昨年度には及びませんでしたが、来場者数は昨年を上回り多くの方々がアートに触れて楽しんでいただく機会を提供できたことと、後援会活動へのご理解をいただきました。

今年も皆様のご協力の下、更に喜んでいただける企画を準備していきたいと考えています。ご期待下さい。

すてっぷ後援会

会長 猿木素子



### 第7回チャリティーアート展収支報告

|            |            |
|------------|------------|
| 総売り上げ      | 1,491,295円 |
| 収入         |            |
| 売上寄付金      | 474,137円   |
| 支出         |            |
| 必要経費(印刷代等) | 196,842円   |
| 利益         | 277,295円   |

新年、あけましておめでとうございます。

国や自治体の仕事が次々と民営化される中、障害福祉事業のしくみもめまぐるしく変化しています。これから社会福祉法人が社会にとってどのような役割を担うべきか、障害のある方や家族が地域であたりまえの生活を送るために福祉サービスがどうあるべきか、今年もすてっぷ全員で前向きに考えていきたいと思っています。

今年は、これまでの取り組みで充実してきた日中活動に加えて、『暮らし』を支える部門での充実に一歩を踏み出す年になりそうです。そんな中でも、ノーマライゼーションの理念をしっかりとって、『一人一人が人生の主人公』になれる支援を職員一同で目指しますので、どうぞ御支援、ご協力をお願いいたします。

今年一年がみなさまにとって、健康で幸多き年になりますよう、御祈念申し上げます。

社会福祉法人すてっぷ





# 今年の抱負



## わーくはうすすてっぷ

サービスと商品の質の向上を目指して、研修を充実させ  
力を蓄える1年にしたいと思います。  
今年もすてっぷの店のご利用、よろしくお願いします。

### 創作活動班



### パン・喫茶班



### パソコン班



### 日中活動班



## とらっぱ



夢の実現に向かって頑張ります！！



## 社会就労センターぴいす

きっちん、購買、カフェ、清掃、弁当、リサイクル、みんな元気にがんばるぞ！



## 福祉ホームメゾンすてっぷ

メゾンすてっぷは、昨年5月に施設内ケアホームが認められ、定員9人に変更になっています。2008年もスタッフ一同、9人の変わらぬ快適なメゾン生活を応援させていただきます。



## ケアホームRUN

今年こそ、皆が団らん出来る癒しのホームを目指します。本年もよろしくお願いします。

## 放課後クラブ・kid's Club

わくわく！ときどき！子ども達の心に沢山の栄養が届くよう、今年もスタッフ一同頑張ります！！  
よろしくお願いいたします。

## ヘルパーステーションすてっぷ

「すてっぷのヘルパーが一番いい！」と言われるように、一人一人のヘルパーの支援技術を高めていけるよう、研修や情報共有の機会をたくさん設けていきたいと思っています。

## サービスステーションすてっぷ

昨年4月に高崎(旧群馬町)のサービスステーションに一本化しました。これからも、今まで以上にご本人やご家族の気持ちを大切にしつつ、安心でき、利用して良かったと思っていただけるようなサービスを提供し続けていきたいと思っています。

## 前橋市障害者生活支援センター

前橋市からの相談事業を委託されて5年になりました。3人のソーシャルワーカーと補助スタッフ1名、事務スタッフ1名、OT(作業療法士)1名で新年を迎えます。

新しい1年も、“すてっぷに委託して良かった”と言われるように、障害を持つ方と家族の困り事に真摯に耳を傾けたいと思います。

生活相談全般は、前橋市障害者生活支援センターにご紹介ください。

## 2008年度すてっぷ年間予定

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1 / 12 (土)  | 新春落語会           |
| 4 / 26 (土)  | すてっぷまつり         |
| 5 / 下旬      | 後援会総会           |
| 9 / 19 (金)  | グループ旅行          |
| ~ 20 (土)    | (わーく・びいす・とらっば)  |
| 9 / 28 (日)  | 障害者スポーツ大会       |
| 10 / 11 (土) | 前橋まつり(だんべえ躍り参加) |
| 11 / 8 (土)  | 芋煮会             |



|              |            |
|--------------|------------|
| 11 / 8 (土)   | 錦野祭        |
| ~ 9 (日)      | (県立女子大学)   |
| 11 / 29 (土)  | チャリティーアート展 |
| ~ 12 / 1 (月) |            |
| 12 / 13 (土)  | 利用者会忘年会    |



# 新事業移行から1年 ～新しい活動を報告します

## 就労移行支援事業

### 一般就労をめざして！

「就労移行支援事業」は、一般就労を希望する人に対して、一定期間にわたり生産活動や勉強会を通じて就労に必要な知識・能力向上のための訓練を提供するものです。また、職場探し、職場と人とのマッチング、職場練習、職場定着支援等も行っています。

昨年11月から、とらっばの新事業として始まりました。「就労移行支援事業」は、一般就労をしたい人、働くための力を伸ばしたい人など、現在13名の方々が利用しています。

就労希望職種は、スーパーや店舗での販売、レストラン厨房、清掃、製造、軽作業などいろいろで、雇ってくれるならどこでもいく！という人もいます。

とらっばでは、まず働くための基礎力をつけるための勉強会を毎週木曜日に行っています。

#### 社会生活プログラムの4分野

- ①社会人マナー(例:身だしなみ、挨拶、言葉使い、場にあった行動)
- ②生活(例:健康管理、栄養管理、お金について、交通利用等、生活力をつける)
- ③余暇(例:図書館の利用、ダンス、外出等、自分の楽しみをみつける)
- ④仕事(例:ハローワーク・職業センター見学、ビデオ学習、職場見学等)

勉強会では、なぜこれが必要なのか？について体験学習します。そして、日々の授産作業の中で実践していきます。また、4ヶ月に1回は評価を行い、客観的な話し合いをします。

「一般就労するには、仕事が出来なくちゃ。」と思われるかもしれませんが、もちろん作業能力は高い方がいいでしょう。しかし、それよりも、挨拶がきちんとできる、清潔できちんとした身なりを整えられる、丁寧な言葉使いが出来る、休まず自主通勤できる、指示や約束を守る事ができる等、基本的な生活習慣や就労態度がとても大切なのです。

実際の就職活動や実習、定着支援などは、ご本人、とらっば、地域の就労支援機関、生活支援機関、そしてご家族が、緊密なチームワークを組んで行っています。現在のところ、清掃の仕事で就職者1名・内定者1名、販売補助の仕事で就職者1名です。

実習や内定が決まると、皆さんどんどん輝いていきます。力をつけ、自信をつけ、自分の手で夢をしっかりとつかんで、旅立ちの日を迎えてほしいと思います。

## ぴいす・県立女子大清掃・C a f e

今年の四月、県立女子大学の新館1FにPeaceCafeがオープンしました。太陽光いっぱいの明るいスペースはスタッフ苦心の末、北欧風にコーディネート。また、同じ4月から大学構内の清掃業務の委託を受け、仕事の幅が広がりました。それぞれに、就労継続支援事業B型を利用する方々の新しい職場です。



PeaceCafeは、休み時間になるとあっという間に学生さんで一杯。毎朝マイカップで珈琲を飲んでくださる先生方もいます。まだ、少人数ですが学外からのお客様がすてっぷのパンを買って下さることもあります。

清掃業務では、初めての場所で、利用者さんスタッフともども必死に取り組みました。今ではすっかり、24号教室はここ、C3はあっち、LL教室は…と迷うことなく動き回り、ちょっぴり頼もしくなった利用者さん達です。

これからも、皆さんに気持ちよく使っていただけるよう日々頑張りたいと思っています。

## ケアホームRUN (メゾンすてっぷ内)

自立支援法施行に伴い、福祉ホームは平成

18年10月から市町村地域生活支援事業に移



行しました。そして、「障害程度区分5・6の方は常時医療介護が必要とみなし、自立が基本の福祉ホームにはそぐわない」という群馬県や市の判断により、対象の利用者さんがメゾンすてっぷで暮らすことができなくなりました。

そこでメゾンすてっぷの2F部分を新しく制度化された「ケアホーム」として利用できるよう県と協議を重ね、平成19年5月1日より、4部屋が「ケアホーム」としてスタートしま

した。大きく変わった事として、今まで各自の居室でそれぞれが食事をしていましたが、ケアホームになり、世話人が作った食事を皆で一緒に食べています。初めはぎこちなく見えた食事の風景も、今では一日の出来事を話したり、お互いの愚痴を言い合ったり、好きなテレビ番組の話をしたりと笑顔の絶えない家庭的な雰囲気になっています。また、休日には友人と外出する方もいれば、世話人と身の回りのものや日用品の買い物に出掛けたり、散歩に出掛けたりする方もいたり、それぞれが自分にあった時間を過ごしています。

今後も入居者の方々の自立した生活を支える為に、一人一人の暮らし方を尊重し合えるように工夫し、より充実した生活が送れるよう、スタッフ一同協力していきたいと思います。

## 生活介護事業

新しい事業部門としてスタートした生活介護事業は、現在16名の方が利用しています。

生活介護事業は、障害程度区分が3以上で日々の介護が必要な方を対象とし、日々の生活を充実させることが目的となっています。

活動内容は、一人一人の障害や個性に合わせてプログラムするため、非常に多様な形態です。これまで授産活動に携わってきた方については、慣れた作業を続けて生産活動でやりがいを持っていただくと共にOT(作業療法士)による身体機能の維持、向上のための体操を活動に取り入れたり、代謝や免疫機能向上のためのリフレクソロジーを取り入れています。



生産活動に直接従事しないグループの方々は、スヌーズレンルームで五感に働きかけたり、音楽や運動を取り入れたプログラムを実施し、毎週看護師による健康管理も行っております。

来春には、新しい生活介護棟も建設される予定なので、リハビリルーム等の活用が今から楽しみです。

## ★ 6人の子ども達のひっこし

Kid's Club 本多

この度、Kid'sClubが、元ほっぷすてっぷの建物に引っ越ししました。

キッズハウスの建っている場所に、自立支援法特別対策費によって生活介護棟を建てる事が正式に決まったのが11月。12月始めには取り壊しとなりました。変化に弱い子供達に、どうやって理解してもらおうか…スタッフは頭をひねり、作戦会議をして3日間の引っ越しプロジェクトが始まりました。

1日目。始まりの会で、14匹のねずみシリーズの「ひっこし」という絵本を読みました。その後で「これから大切なお話がありますから聞いて下さい。」と言うと全員が注目でき、そこで紙芝居方式で一人ずつの小さかった時の写真と、今の大きく成長した写真を見せていくと、6人の子供達はみんなにっこり。7枚目の最後のカードに、キッズハウスの写真と全員の写真を貼り、「みんなはこんなに大きくなったから、キッズのお家は小さくなりました。引っ越ししましょう」と伝えると子供達は即答で「はい!」。ロッカーや自分の荷物は次の日に運ぶことを伝え、その日のうちに、スタッフ総出で翌日子供達で運べる分だけを残し、大移動を行いました。

2日目。子供達が混乱しないよう、変わり果てたキッズハウスの室内の様子と、新しい部屋の写真2枚をお迎えの車の中で見せて予告しておきました。全員納得した状態でキッズハウスに到着。「自分の荷物を自分で持って引っ越ししましょう。」そう伝えると、どの子もせっせと身の回りを整理し、ランドセルを背負って、重い荷物をよろよろしながらもしっかりと持って「お引っ越しする！」と意気込みました。そして新しい部屋に到着した子供達から「わあ～！」と歓声が。綺麗で明るく、かわいい子ども部屋風の新しいキッズのお部屋をとてん気に入ってくれた様子。

3日目。新しいキッズでの活動のスタートには、周到な準備をして子供達の大好きなおやつ作りをしました。その途中、以前のキッズが…。子供達の目の前で壊されました。おやつ作りも忘れ、みんな窓ガラスに一目散。一言も口を開かず、じっと見つめていました。どの子の目も淋しそうで、呆然と見ていましたが、一人の女の子が「キッズがなくなっちゃう。さみしい。」と呟きました。この日は真っ暗になるまでみんなの心に刻むように、壊れていくキッズを見守っていました。こんなにも子供達に愛されていた「キッズハウス」これからもずっと子供達の心の中に残ってくれていることでしょう。

新しいキッズも大好きな子供達。広くて楽しい遊び場に大満足の様で、新しい遊びを発見の毎日です。子供達の心の優しさ、強さ、あたたかさをこの引っ越しで沢山見せてもらいました。

やっぱり！子どもって凄い！！



長い間、ありがとう！ キッズハウス。



## 12/15利用者会 第2回合同忘年会開催

わーくはうす すてっぷ、ぴいす、とらっぽの  
合同利用者会主催の忘年会が12月15日(土)に  
前橋ホテルを会場に3事業所の利用者、スタッ  
フ総勢102名の参加で行われました。

今回の忘年会では事業所毎にベストドレッサーを決める事になっていて、みなさん素敵な装いで楽しいひとときを過ごしました。

## ベストドレッサー賞受賞者のみなさん



わーくはうす  
宮内さん  
野中さん  
大熊さん

びいす  
 土屋さん  
 平井さん  
 糸井さん

とらっば  
小林(秀)さん  
須藤さん



**INFORMATION**

**谷口理事を迎えて「個別支援計画作成研修」を開きます！！**

## 障害福祉サービス管理責任者のための

## 今すぐ必要な個別支援計画作成研修

～利用者主体のサービス提供のために～

期 日 2008年2月21日(木)・22日(金)

会 場 群馬県勤労福祉センター 第1会議室

**参加費** 10,000円（二日間）

※ 申込みは、すてっぷホームページから

→ <http://www.s-step.com>

自立支援法施行に伴い、いち早く新事業移行を実施した『すてっぷ』ですが、一人一人にあった個別支援計画の作成と実行、サービス管理については課題も多い状態です。おそらく、新事業に移行したしないに関わらず、福祉サービス事業所における「役に立つ個別支援計画」の活用はまだまだ充分ではないと思われます。

そこで、当法人の理事でもあり、全国各地の福祉施設職員研修に引っぱりだこの谷口明広氏（自立生活研究所所長／愛知淑徳大学教授）を

招いて、実践的な研修を企画いたしました。現場で日々利用者支援に苦心惨憺している管理責任者のみなさんの積極的なご参加をお待ちしています。

障害福祉サービスを利用されている方々もご自分の利用施設の職員さんへぜひご紹介ください。一歩も二歩もスキルアップしていただいて、より利用者主体のサービス提供を受けられるよう、この機会をお見逃しなく！

## ホーム開設準備スタート！！

自立生活を始めたくても居住サービスが足りない！こんな状況の中、何回かすてっぷだよりでも特集してまいりましたが、いよいよ今年はホーム開設に向けて具体的準備をスタートする事となりました。すてっぷの通所事業（わーく・ぴいす・とらっぽ）を利用する皆さんのなかでホームの希望者数は表のとおりです。

|         | 男  | 女 |
|---------|----|---|
| グループホーム | 10 | 8 |
| ケアホーム   | 3  | 5 |
| 福祉ホーム   | 4  | 1 |

## 課題1 家を探す。又は建築する

国の制度では、ホームを建てるための補助金は一切ありません。既存の貸借物件の利用を前提にした制度になっており、バリアフリー対策のための改修費について、少し補助が出るようになっていました。しかし、一人一人障害の違う利用者さんが一つ屋根の下に暮らすためには、さまざまな工夫が必要です。障害が重くなればなるほど、既存の建物では難しいのが現状です。長野県のように、国の補助制度に加えて、建築や改修に県としての補助制度があれば、ホームの整備はもっともっと進むはずですよ。

皆さん、群馬県でも「ホーム建築のための補助制度」ができるよう、県へ働きかけましょう！！後援会員さんの力に期待しています。(※平成20年度、国からグループホーム施設整備補助金が出るかもしれません)

## 課題2 世話人・生活支援員さんの確保

自立支援法以前から、ホームの運営費単価は安く、法人として職員を雇って勤務させる事が難しいことから、業務委託という形で世話人さんをお願いしているところがほとんどでした。すてっぷでは、ホームの世話人を障害者支援のプロと位置付け、常勤スタッフを配置しています。ですから、運営は厳しく、毎年赤字を出してきました（赤字の補填に後援会からの寄付金を使わせていただいております）。経営が大変でも、重い障害がある人も地域で普通に暮らせる方法として、「ケアホームRUN」の実践がまわりの利用者さんや家族に勇気を与え、ホームで暮らしたいという希望者がこんなに増えたのだと思っています。

新しいホームの開設には、高い介護技術と障害理解の知識を持ち、利用者さんを心から思って支援して下さる職員が必要です。その職員が、安心して生活できるだけの運営費（給付金）の増額や、県単独の上乗せ補助を強く望んでいます。また、新しい職員も募集しています。地域福祉のために働きたいという方、どうぞ一緒に活動して下さい！ ※業務委託…企業に雇用されるのではなく、あくまで対等の立場で仕事の依頼を受ける働き方です。

以上のように、大きな課題はありますが、ホーム利用希望者やご家族の皆様と一緒にホーム開設の準備会活動を始めたいと思います。参加希望の方は下記までご連絡ください。詳しい予定をご連絡致します。

わーくはうす 木村 TEL 027-290-6161  
 ぴいす 上村 TEL 0270-64-0566  
 とらっば 根岸 TEL 027-219-2525

♡ すてっぷ後援会の年会費を  
ご入金頂きありがとうございました ♡

誌面を借りて御礼申し上げます。誌面の都合で敬称を略させていただくこと、順不同であることをお許しください。

平井恵治、斉藤幸子、関口幸代、高橋厚子、  
戸丸とみえ、戸丸康子

♡ ありがとうございました! ♡



昨年につき、(財)日本出版クラブ様(東京都新宿区)より図書を寄贈していただきました。

これは、出版クラブの社会貢献活動として毎年行っている「読書のめぐみ運動」の一環としていただいたものです。

大切に利用させていただきます。ありがとうございました。

## 『工賃倍増5ヶ年計画』スタート!

昨年2月15日にとりまとめられた国の「成長力底上げ戦略」に基づき、群馬県も「工賃倍増5ヶ年計画」を作成することになりました。わーくはうすすてっぷ、ぴいす、とらっぱの就労継続支援事業B型が対象になります。目標工賃は約30,000円(最賃の1/3程度、障害年金とあわせて地域での自立生活に必要とされる金額)です。ぴいすは月平均工賃を約2倍に、わーくはパンを中心に頑張って15,000円を目標に今年から計画を立てて業務改善をしていきます。

### 18年度平均工賃(月額)

|      |       |         |
|------|-------|---------|
| 18年度 | 全国平均  | 12,222円 |
|      | 群馬県平均 | 12,000円 |

### 18年11月～19年3月(平均)

|           |       |         |
|-----------|-------|---------|
| とらっぱ      | 就労B平均 | 44,600円 |
| ぴいす       | 就労B平均 | 18,900円 |
| わーく       | 就労B平均 | 8,700円  |
| (生産体制強化型) |       |         |

### 編集後記

昨年より年賀状の代わりにすてっぷだよりを新年のあいさつとさせて頂いております。

いろいろな事にチャレンジし続けているすてっぷを今年もよろしくお願い致します。

新井・堀越

2/10・11  
開催

## 第2回けやきウォーク in SELP SHOP

昨年7月と同じ、けやきホールで開催です。  
ご来場をお待ちしております。

すてっぷ出店予定商品……

陶器・アート書・マフラー  
天然酵母パン・焼き菓子・ヘルシークッキー

|                      |                         |                  |
|----------------------|-------------------------|------------------|
| ・わーくはうす すてっぷ         | 〒379-2164 前橋市東上野町136番地1 | TEL 027-290-6161 |
| ・社会就労センターぴいす         | 〒371-0032 前橋市若宮町4-2-17  | TEL 027-236-0303 |
| ・とらっぱ                | 〒371-0017 前橋市日吉町2-17-10 | TEL 027-219-2525 |
| ・ヘルパーステーションすてっぷ      | 〒379-2164 前橋市東上野町136番地1 | TEL 027-290-2233 |
| ・ケアホームRUN            | 〒371-0017 前橋市日吉町2-29-4  | TEL 027-234-3321 |
| ・ケアホームRUN (メゾンすてっぷ内) | 〒371-0004 前橋市亀泉町3-83    | TEL 027-269-7444 |
| ・メゾンすてっぷ             | 〒371-0004 前橋市亀泉町3-83    | TEL 027-269-7444 |
| ・前橋市障害者生活支援センター      | 〒379-0017 前橋市日吉町2-17-10 | TEL 027-236-0001 |
| ・サービスステーションすてっぷ      | 〒370-3523 高崎市福島町782-1   | TEL 027-372-3456 |

発行人 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧6-26-21

編集人 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会

〒379-2164 群馬県前橋市東上野町136-1

Tel 027-290-6161 Fax 027-290-6162

<http://www.s-step.com>

[w-step@s-step.com](mailto:w-step@s-step.com)

定価100円